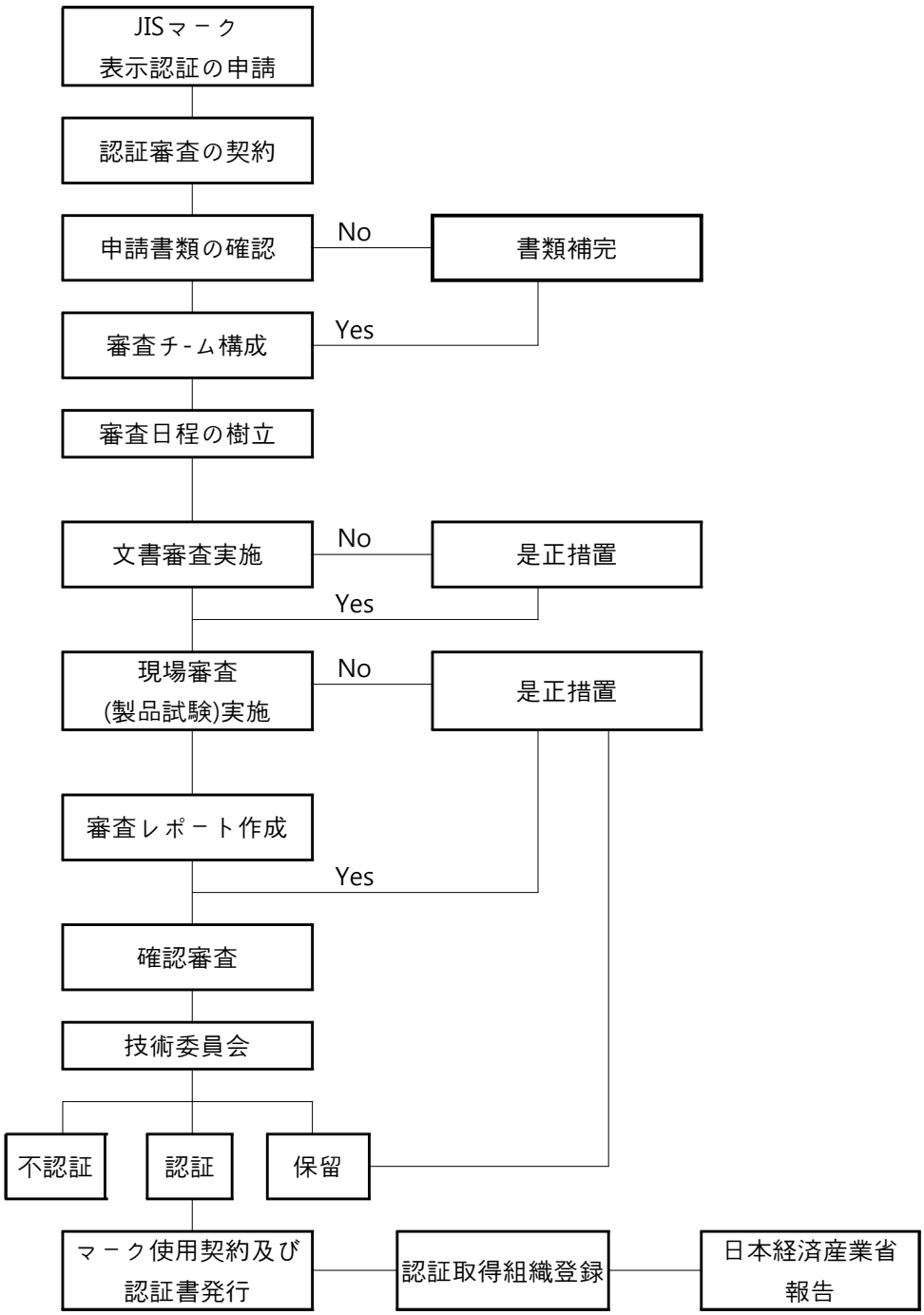
認証案内書

1 認証審査の手続き

1. 認証審査のフローチャート



2. 段階別の推進内容

1) 認証申請及び契約

JISマーク表示認証が必要な顧客は、JISマークの認定申請書及び申請書類を作成して、申請料と一緒に送付してください。申請書に記載された情報に基づいて作成された協会の認定審査の提案を申請企業が認証契約書に署名すると、契約が完了します。

2) 審査チ-ム構成

契約が締結すると韓国標準協会はシ審査判を構成し、申請企業に通知します。申請企業の意見は審査判の構成に反映することができます。

3) 審査計画の作成と通報

審査判の構成が完了すると、該当の審査員は、申請書類を検討して審査計画を作成し、申請者に通知します。認証業務の公平性を期し、差別性を排除するために、認証申請から現地審査実施までの期限を60日以内とすることを原則と決まっておりが、申請企業との協会は協議を通じ、審査スケジュールを調整することができます。申請書類に不備があった場合、これを補完しなければなりません。

4) 認証審査の実行

①文書審査

現場審査の前, 申請書類がそのJIS規格、審査基準、日本工業規格への適合性認証に関する省令及び社内規格に適合するかどうか審査します。文書審査と現場審査は、特別な事情がない限り、連続して実施することを原則とします。

②現場審査

審査判は、申請企業が提出した文書と実施記録が、該当の審査基準を従って適切に実施し、維持されているかどうかを審査するために、申請企業の事業所を訪れ、現場審査を行います。審査終了後、審査チ-ム長は、不適合事項を含む審査報告書を申請企業に提示して、確認をもらいます。不適合事項に対して、1ヶ月以上の是正措置の其間を通じて是正措置をする。もし、審査の結果に異議がある場合は、書面で異議を申し立てることができます。

③確認審査

申請企業が提出した改善完了報告書を評価するため、確認の審査を行います。確認の審査は、改善の完了報告書に対する文書検討や現場確認で構成され、不適合事項の内容が文書で確認できる内容である場合のみ、現場確認を省略することができます。ただし、確認審査の時に、追加事項が発生すると、確認の審査日数を伸ばせます。

④審査の時、致命的な欠陥や認証業務規定違反である場合、審査を停止することができます。

5) 認証の決定及び認証書の発行

確認審査が終わると、審査随行の適切性を判断するため、審査プロセス全体を検証して適切な場合は、審議委員会を開催し、可否を決定します。

3. 所要期間

本期間は平均所要時間を例示したものであり、実際の審査では、多少の違いがあります。平均所要時間は、申請書受付から少なくとも60日で最大140日です。

區分	申請 ~ 文書審査	文書審査 ~ 現場審査	現場審査 ~ 試驗完了	檢證審査 ~ 認證決定
平均所要時間	7日 ~ 30日	15日 ~ 30日	30日 ~ 45日	8日 ~ 35日

2 認證審査費用

1) 審査日数の適用基準 (単位: MD)

▶最初審査

區分	基本			OPTION 1		OPTION 2		FULL OPTION
	基本 審査			試驗所の追加		通訳付きの審査		
審査種類	文書審査	現場審査	總日數	試驗所審査	總 日數 (基本+OP1)	追加日數	總 日數 (基本+OP2)	總 日數 (基本+OP1, 2)
1個 規格	2	4	6	1	7	1	7	8
2個 規格	2	5	7	1	8	1	8	9
3個 規格	2	6	8	1	9	1	9	10
4個 以上	協議 決定(同様の製品群が追加されている場合には、3つの規格に準じて実施)							

▶認證維持審査

區分	基本			OPTION 1		OPTION 2		FULL OPTION
	基本 審査			試驗所の追加		通訳付きの審査		
審査種類	文書審査	現場審査	總日數	試驗所審査	總 日數 (基本+OP1)	追加日數	總 日數 (基本+OP2)	總 日數 (基本+OP1, 2)
1個 規格	1	4	5	1	6	1	6	7
2個 規格	1	5	6	1	7	1	7	8
3個 規格	1	6	7	1	8	1	8	9
4個 以上	協議 決定(同様の製品群が追加されている場合には、3つの規格に準じて実施)							

2）すべての文書の審査と現場審査は認証の申請企業または認証企業の現場で実施することを原則とする。

3）製品の試験を自社の試験装置を使用して審査場合は、試験所の評価1MDが追加され、その製品の試験に要する時間が0.5MDを超えている場合は、製品試験に必要とされるMDを追加することができる。

4）韓国語以外の言語で審査する場合には、1人以上の通訳者を認証企業で提供する必要があり、審査の場合も、上記の表のように追加される。

5) 製品のテストコストは、製品試験機関の手順に従い、別途算定する。

6) 認証審査費用

① 申請費 ：₩500,000

② 審査費 ：₩900,000/MD

③ 出張寮費 ： 本協会旅費規定に基づいて算出

④ 製品試験手数料及びVAT別途(試験機關に直接納付)

⑤ 認証登録費 ：₩300,000

⑥ 海外審査の際, 移動MDで審査員1人当たりに1MDのコストを追加
（審査MDが追加されるわけではない）